オリエンタルランド元社長「見えない価値が大切」

とうしん青年経営者クで講演

東濃信用金庫（多治見市）の取引先の若手経営者らでつくる「とうしん青年経営者クラブ」（木下貴子会長）は、講演会を同市新町の市産業文化センターで開いた。東京ディズニーリゾートを運営するオリエンタルランドの元社長で特別顧問の福島祥郎さん（77）が「目に見えない価値～経営者に不可欠な自己探求～」をテーマに語り、会員約150人が耳を傾けた。

福島さんは「変化の大きな時代はデータに頼るより、直観で進んでいかなければならない。これからは見えないものが大切だ」と主張。感性を磨くため、芸術や自然に触れるなど好奇心を持って行動するよう勧め「仕事に集中すると、他のことが見えなくなる。離れてみることが、仕事にもプラスになる」と述べた。



講演する福島祥郎さん＝多治見市新町、市産業文化センター

人が喜びを感じる3要素として、▽想像と創造▽人とのコミュニケーション▽無垢（純粋）なもの―を挙げ、キャラクターによる癒やしなどどれもディズニーのテーマパークにあるものだと指摘。「仕事に創造性を付加し、働く喜びを与えられるリーダーには人が付いてくる」と強調した。

総会もあり、新春講演会（来年2月）や産業視察（同5月）といった本年度の事業計画などを承認した。（小森直人）

無断複製・転載を禁じます